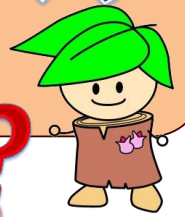


● 開成あじさい祭 関連事業 ●

かいせい平成の杜づくり



あなたも 参加しませんか!?



「森づくり」や東日本大震災の被災地での「ガレキを活用した防潮堤」の構築を提案され、各種マスコミで注目されている宮脇昭先生(横浜国立大学名誉教授)を招いて『かいせい平成の杜づくり』講演会と植樹祭を開催します。

講演会

〔日 時〕平成25年5月29日(水)

開場14:30 開会15:00 閉会予定17:00

〔会 場〕開成南小学校(開成町吉田島1291番地) 1階 多目的ホール

小田急線開成駅西口から徒歩7分

〔講 師〕宮脇 昭先生(横浜国立大学名誉教授)

〔参加対象〕居住地、年齢を問いません。

〔参加費〕無料

〔定 員〕100人(先着順)

〔申込み〕参加者の①住所 ②氏名を開成町総務課にEメールまたはFAXで5月27日(月)までにお知らせください。 ※申込み状況により当日参加も受け付けます。



植樹祭

〔日 時〕平成25年6月14日(金) 小雨決行・荒天中止

受付9:30~ 開会10:00 閉会予定12:00

〔会 場〕開成南小学校(開成町吉田島1291番地) 西側公園予定地

小田急線開成駅西口から徒歩8分

〔指導者〕宮脇 昭先生(横浜国立大学名誉教授)

〔植樹規模〕350㎡ 植樹本数1000本

〔参加対象〕居住地、年齢を問いません。

〔参加費〕無料

〔定 員〕300人(先着順)

〔服そう〕汚れてもいい動きやすい服そう・運動靴または長靴

〔持ち物〕軍手・移植ごて(できるだけご用意ください)・着替え・タオル ※雨天時は雨具(かっぱ)

〔申込み〕参加者の①住所 ②氏名を開成町総務課にEメールまたはFAXで6月7日(金)

までにお知らせください。 ※申込み状況により当日参加も受け付けます。



〔主 催〕 cococara (ココカラ) 〔共 催〕 社会福祉法人進和学園

〔協 賛〕 開成グリーンメンテナンス・(有)開成グリーンリサイクルセンター

〔後 援〕 開成町

〔問い合わせ先〕開成町行政推進部総務課 田代 電話 0465-84-0310(直通)

〔申込先〕 Eメール:soumuka@town.kaisei.kanagawa.jp FAX:0465-82-5234

宮脇 昭 横浜国立大学名誉教授

国内はもとより、世界各地で植樹を推進する現場主義の植物生態学者として、これまで国内外1700ヶ所以上で植樹指導し4000万本以上の木を植えています。

徹底した現場調査から、その土地に自生し、最も安定して存続する樹種群(潜在自然植生)を探し出し、それらの苗を育て、多種類の苗を密植・混植させ、自然の成り行きに任せて競争・共存させ、自然の森のような状態に植える手法を提唱、実践しています。

それまでは何百年もかかるといわれていた森の再生が、その手法によって十数年という単位で成功することを証明しています。

地球規模の森林破壊や地球温暖化が加速、自然のゆり戻しである大災害にも負けない豊かな森を再生することを緊急の課題とし、すべてのヒトのいのちと心と遺伝子を守り、地域、経済、豊かな社会を支える”いのちを守る本物の森づくり”、“いのちを守る森の防潮堤づくり”を提唱しており、東日本大震災直後より被災地で現地調査を行い、いち早く「いのちを守る森の防潮堤」の必要性を指摘したことで、さらに注目を集めています。

1928年岡山生まれ。

理学博士 広島文理科大学生物学科卒 ドイツ国立植生図研究所研究員となる。
横浜国立大学教授、国際生態学会会長などを経て、現在、横浜国立大学名誉教授
財団法人地球環境戦略研究機関国際生態学センター長
紫綬褒章、勳二等瑞宝章、ブループラネット賞(地球環境国際賞)などを受賞。

共催団体: 社会福祉法人進和学園

今回の植樹にあたり、1000本の苗木を提供いただいています。

社会福祉法人進和学園は、宮脇昭先生が提唱される潜在自然植生理論に基づく「その土地本来の木による本物の森づくり」を目指し、ドングリや木の実から植樹用のポット苗を栽培する「いのちの森づくり」プロジェクトを推進しています。関連会社である研進(障害者就業支援団体)と協力して、進和学園「どングリグループ」のメンバーが、日々、作業に励んでいます。

ドングリや木の実から苗木を育てることは、障害者ご本人の豊かな情操を育み精神(心)の自立に繋がります。力を合わせて自らが育てた苗木が各所に根付き、何れ見事な森に育つことに想いを馳せることは「生き甲斐」にもなり、更に、苗木の販売収益や「森づくり」に係る労務の代償として工賃を得ることにより、障害者ご本人の経済的な自立を図ることを目指しています。

「いのちの森づくり」は、地球的規模で進展している温暖化問題(CO2削減)への対応として、私達一人一人が取り組めるささやかな行為であると共に、今、日本人が忘れかけている自然への畏敬の念や感謝の気持ち、他を思いやる優しい心、人との絆といった大切なものを呼び起こしてくれる営みであると信じ活動しています。

～「福祉」「環境」「教育」「労働」の連携に通ずる「いのちの森づくり」プロジェクト～

主催団体: cococara (ココカラ)

私たちは、緑化事業などを目的に活動を始めた20代～40代の女性が核となった住民有志の団体です。この度、開成町と協働で「かいせい平成の杜づくり事業」を、町最大のイベントあじさい祭の一環で主催することとなりました。木の少ない開成町に森をつくるため活動を進めていきます。多くの方のご協力を期待しています。